

事務事業名		三陸沿岸南部三市協議会運営事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	018 自立した行政経営の確立				事業期間		予算科目				
	施策名	37 広域連携の推進						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 広域連携の推進				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成16 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06	09
根拠法令												
所属	部課名	企画政策部企画調整課										
	係名	広域行政係		電話	0192-27-3111							
				内線	210							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・隣接する三陸沿岸南部の三市(釜石市、大船渡市、陸前高田市)という地理的条件を生かし、より迅速かつ緊密に共通課題について協議し、連携を深めながら、地域の活性化や振興に資することを目的として、大船渡市長が呼びかけ人となり、平成16年2月2日設立。大船渡市長が会長を務め、企画調整課が事務局を担当している。三陸沿岸都市会議開催前の協議会では、お互いの発言事項などの意見交換及び年度始めには各市の主要事業等についての情報交換が行われている。 ・主な業務は以下のとおり。 幹事会(担当課長レベル)の開催(年2回) 協議会(首長レベル)の開催(年2回) ・事業費は主に旅費として支出される。 なお、平成19年度は、都合により協議会は年1回の開催。								全体計画(期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・幹事会の開催(2回) ・協議会の開催(1回) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・幹事会の開催(年2回) ・協議会の開催(年2回) 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 構成市 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 構成市が抱える重要な共通課題について共有化を図り、その解決に向けた行動を起す。 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 連携して共通課題を調査・研究する。	  	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 協議会の開催</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 幹事会の開催</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 協議会の開催	回	イ 幹事会の開催	回	ウ	
		名称	単位							
		ア 協議会の開催	回							
		イ 幹事会の開催	回							
		ウ								
		対象指標(対象の大きさを表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 構成市の数</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 構成市の数	市	キ		ク	
		名称	単位							
		カ 構成市の数	市							
		キ								
		ク								
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 三陸沿岸都市会議への提案項目数</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 三陸沿岸都市会議への提案項目数	項目	シ		ス			
名称	単位									
サ 三陸沿岸都市会議への提案項目数	項目									
シ										
ス										

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	4	0	11	4	13	20
			事業費計 (A)	千 円	4	0	11	4	13	20
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計 (B)	千 円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	164	160	171	164	173	180	
活動指標			ア	回	2	1	1	2	2	2
			イ	回	2	2	2	2	2	2
			ウ							
対象指標			カ	市	3	3	3	3	3	3
			キ							
			ク							
成果指標			サ	項目	5	4	5	4	5	4
			シ							
			ス							

事務事業ID	0332	事務事業名	三陸沿岸南部三市協議会運営事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

隣接する沿岸三市であることから、首長の情報交換を含めて緊密に連携するため、大船渡市長が呼びかけ人となって平成16年2月に協議会を設立した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・三陸沿岸都市会議開催前の協議会では、お互いの発言事項などの意見交換及び年度始めには各市の主要事業等についての情報交換が行われている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・協議会自体は公開しているが、特に意見や要望は寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 岩手県沿岸南部の隣接した市との連携強化のための事業であり、広域連携の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市町村間の連携は基本的に公共主導で行われるものであり、連携することにより、効率的で効果的な事業推進が図られるため。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 県内の沿岸南部の三市ということで、地理的条件を同じくする構成市として妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 共通課題の解決に向け、協力体制をより強固にすることで、今後、成果向上が期待される。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 隣接する沿岸南部三市の首長が共通課題について迅速に情報・意見交換する場が無くなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 三陸沿岸都市会議の前段としても機能しているが、迅速かつ緊密に協議する場として設けているものであり、現時点で統廃合はできない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現状、協議会の開催は首長の情報・意見交換の場として最低限の経費で実施している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 首長の協議内容により業務所要時間も変化することから、今まで以上の削減は困難であるとともに、委託等になじむ事業ではない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業の対象が構成市であるため、受益者負担の考え方は当てはまらない。

事務事業ID	0332	事務事業名	三陸沿岸南部三市協議会運営事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・協議会の性格から、新たな共通課題の生じたような場合は、定例会に限らず随時開催することで、より緊密な連携が図られるが、21年度については、定期時期以外での開催を要するような、特に緊急性を要する案件はなかった。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 定例会開催に限らず、柔軟に話し合いの場を設定する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) 原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長	
-------	-------------	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 経営評価推進会議等での指摘事項
